

基本方針

1. 人と人との繋がり
1. 地域から共感を得られる情報発信
1. 全会員で取り組む会員拡大
1. リーダーとしての JAYCEE であるために
1. 地域活性化へ向けて
1. 未来へ生き抜く力
1. 強固な組織を目指して

人と人との繋がり

昨年、創立 50 周年を迎え、その歴史を紐解いて諸先輩方の活動記録を見た時に、当時の熱い想いが少し理解できた自分に「僕らもまけてはいけない」と気持ちが高まりました。ずっしりとした歴史の重みは活動の功績の大きさに比例するのかもしれませんが。各時代の事業に感嘆し圧倒された歴史探訪でしたが、歴史の 1 頁 1 頁からも見えてくる受け継がれた想いは、我々現役メンバーの胸にもしっかりと宿っていると感じています。受け継いだものは次世代へ引き継がなくてはなりません。これを繰り返してきたからこそ、年代を越えた JAYCEE として繋がるという大きな財産になっています。また、仲間意識を強く持つことは LOM の活性化に繋がり、他団体との交流や事業交流でさらに深く人脈化されて、各人の人生に大きな影響を与えるような事柄に繋がると思います。こうした人の繋がりが幸せの循環を生みだし、人と人が混じり合っていく事業の中から地域に波及していくと確信しています。

地域から共感を得られる情報の発信

広報活動は地域とのネットワークづくりに欠かせない重要な活動です。どんなに良い事業を行っても広報活動が上手くいかなければ、その事業に対する理解や協力を得られず自己満足に終わってしまいそうです。また、IT の発達によって情報は様々な媒体を通して世に拡散されていて、その溢れかえる情報の渦の中から媒体を取捨選択し、大切な情報をいかに正確に伝えるかが重要になってきます。我々の運動や活動を地域の人々に広く知っていただくために効果的な情報発信ツールを用い、常に最新でスピーディー且つ正確に情報発信を行って、事業への参画につながるように広報活動に取り組みます。

全会員で取り組む会員拡大

創設以来変わらず繰り返されてきたことは会員拡大であり、その行動があったからこそ武雄青年会議所が脈々と受け継がれてきました。「明るい豊かな社会」の実現を目指す我々が市民の意識変革につなげるためには、より多くの青年が同じ志を持ち、多くの感性と価値観をぶつけ合うことで新たな発想を生み出して提言していくことも、時代に即して未来を創ろうとするためには必要なことだと思います。我々 JAYCEE は同じ志と使命感を持つからこそ切磋琢磨されて人的成長を遂げ、感動と楽しさを共有するから

こそ友情から人財へと深まっていく、そんな素晴らしい組織であることに誇りを持っています。我々の目指すまちづくりを地域に発信し、根を張っていこうとするには、一人で叫ぶより多くの大きな声が必要で、各団体と手を携えて行動すれば必ず社会を突き動かすことができると確信します。「一人でも多くの社会を動かす青年を作る」会員拡大活動の新たなスタンダードを確立させていきましょう。

リーダーとしての JAYCEE であるために

流動的かつハイスピードに変化する現代社会において、物事を柔軟に捉え多面的な考え方を持つことのできる人材こそが地域を牽引するリーダーとして求められる重要な資質の一つです。そのスキルアップの為には、JC のスケールメリットである多くの人との出会いが生み出す新たな気付きや、講演会や各種セミナー等から得る貴重な学びを活かし、物事に対して積極的にチャレンジする精神を醸成することが必要です。JC は失敗が許される組織であるといわれますが、裏を返せば失敗から学ぶということを得られることであり、目的と使命を持ち精一杯の努力しなければ何も得ることはできないという一つの教義を体得します。努力の先にある自己の成長は身近な周囲に変化を与え、結果として地域に対し前向きな自己変革をもたらします。青年経済人として主体的に行動し、常に地域を牽引するリーダーとしての JAYCEE であるために、会員の資質向上へ繋がる有益な機会に参加して、積極的に会員の資質向上に取り組んで参ります。

地域活性化へ向けて

2014 年 12 月に日本政府が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、国や自治体が地方創生の進むべき方向を示す羅針盤が策定されました。地方経済の現状は地域間でばらつきがあり、地域ごとの生活実態に合せた住民本位の方策が必要であると考えます。まずは、地域の歴史、文化を見つめ直して地域の魅力や課題を再認識し、今おかれている現状を知ることが重要です。地域がもつ魅力を再認識し、様々な課題に対して、解決策を生み出さなければなりません。人と人がつながる仕組みをつくりネットワークを広げることによって、互いの持つ考えや、色々な視点から意見がでるような機会をつくり、知識や経験を共有して地域の進むべき方向性を探求することが必要だと考えます。地域社会の力を高めるためにはどうすべきか。地域資源を見つけ出し、課題の構成を作り、何をどう組み合わせれば地域がより活性化し、より豊かな生活が送れるようになるかを考え、明るい未来に向かった進むべき道を切り拓きます。

未来へ生き抜く力

未成年者の犯罪の増加や情報化社会の進展に伴い、子供たちを取り巻く環境は大きく変化しています。この時代に将来への希望を抱いて輝いていくためには、様々なことに対応できる生きる力を育むことが必要であり、日々の生活の中でいろいろな事にそれぞれの目標を持たせて過ごさせることが子供の成長に大切だと考えます。こうした夢や目標に向かって挑戦していくことは、子供ならず我々にも欠かせないものであり、一緒に歩み達成できることがあれば、無言のうちに教えられるものや感じてくれることが生ま

れ、やがてそれは彼らが大人になって芽吹く時がくるのではないのでしょうか。子どもは周りの大人に影響されることを忘れてはいけません。子供たちに夢を持ってもらうには、まずは大人が夢を語ることであり、挑戦していく姿を見せる必要があると思います。我々が中心となり、学校・家庭・地域が三位一体となって子供たちに夢や希望を抱いてもらう仕掛けを考え、未来へ力強く歩めるように支えていきたいと思っています。子供たちが人との出会いや様々な価値観に触れながら、あらゆる経験を積むことで、人を思いやる心や道徳心を育み、豊かな心に成長するよう取り組んで参ります。

強固な組織を目指して

組織を運営、維持する上で最も大切なことは、当たり前なことを当たり前に行うことだと思っています。その結果が地域の皆様から信頼を得ることであり、こうしたことは会員一人ひとりが当然出来なければなりません。一度の信用失墜を取り戻すにはどれだけの時間が掛かるかは承知でしょう。会議所で行う総会や理事会の運営、ロバート議事法による通常会議の運営、公益法人会計の基準に則った財務管理や、事業前後の挨拶といったことは青年会議所の運営だけではなく、あらゆる組織や自分の会社の運営でも役立つものばかりです。これらを学ぶことは会員にとって個人の能力として備わってゆくものなので、青年会議所を学び舎とし、この地域に生きる青年経済人・社会人として活動するにあたっては、何事にも自信を持って意欲的に取り組んで欲しいと思います。また、他の素晴らしい運営を行っている団体があればいい面を吸収して強固な組織づくりを目指します。